

地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の 自己評価について

1 要旨

地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）により支援を受けた事業については、毎年度、協議会自らによる事業実施の確認及び自己評価を行い、その結果を、補助金の交付を受けようとする会計年度の1月末までに中部運輸局に報告することとされています。

本年度も次の路線（系統）について支援を受けていますので、自己評価について協議をお願いいたします。

2 対象路線（地域内フィーダー系統）

No.	補助対象事業者等	路線名	運行形態
1	秋葉バスサービス(株)	袋井駅・中東遠総合医療センター線	自主運行バス
2	遠鉄タクシー(株)	宇刈地区	予約型乗合（デマンド） タクシー
3		浅羽南地区	
4		浅羽西地区	
5	袋井交通（株）、 袋井タクシー（株）	袋井東地区タクシー	地域タクシー

3 自己評価期間

令和5年10月1日から令和6年9月30日まで

4 目標に対する運行実績・今後の対応方針

(1) 秋葉バスサービス(株)

【1日当たりの利用者数】

No.	路線名	R5年度 (R4.10~R5.9) 実績値	R6年度 (R5.10~R6.9) 目標値	R6年度 (R5.10~R6.9) 実績値	達成状況
①	袋井駅・中東遠 総合医療センター線	55.8人/日 (13,611人)	52.0人/日	67.7人/日 (16,441人)	達成

R4.10月~R5.3月:約50.1人/日 R5.4月~9月 :約61.3人/日	R5.10月~R6.3月:約60.9人/日 R6.4月~9月 :約74.1人/日
---	---

本路線の利用は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していたが、R3.4月から、高校生の通学利用が可能となるよう一部路線・時刻を変更して以降、利用者数の増加が続いている。利用者数が多い主要停留所4か所（袋井駅前、袋井高校入口、愛野駅南口、中東遠総合医療センター）の乗車人数は前年度比19%増、中でも「袋井高校入口」の乗車人数は前年度比40%増と大きく伸びており、目標を達成した。

【今後の対応方針】①

市内から中東遠総合医療センターへの公共交通として、H25.5月に運行を開始し、R3.4月の運行経路等の改正により高校生の利用も定着してきており、今後も引き続き、事業者や高校と連携した周知に努めるなど、利用促進に向けた取り組みを進める。

(2) 遠鉄タクシー(株)

【1日あたりの利用者数】

No.	路線名	R5年度 (R4.10~R5.9) 実績値	R6年度 (R5.10~R6.9) 目標値	R6年度 (R5.10~R6.9) 実績値	達成状況
②	予約型乗合(デマンド)タクシー 宇刈地区	2.6人/日 (394人)	2.7人/日	2.8人/日 (416人)	達成
③	予約型乗合(デマンド)タクシー 浅羽南地区	3.3人/日 (569人)	3.1人/日	4.0人/日 (848人)	達成
④	予約型乗合(デマンド)タクシー 浅羽西地区	2.1人/日 (247人)	1.7人/日	2.5人/日 (484人)	達成

② 宇刈地区

R4.10月~R5.3月:約2.5人/日
R5.4月~9月:約2.7人/日

R5.10月~R6.3月:約2.9人/日
R6.4月~9月:約2.7人/日

③ 浅羽南地区

R4.10月~R5.3月:約2.9人/日
R5.4月~9月:約3.6人/日

R5.10月~R6.3月:約4.3人/日
R6.4月~9月:約3.8人/日

④ 浅羽西地区

R4.10月~R5.3月:約1.4人/日
R5.4月~9月:約2.5人/日

R5.10月~R6.3月:約2.4人/日
R6.4月~9月:約2.6人/日

R5年は、4月の運行見直しに伴い、案内チラシの世帯配布や、地区へ出向いての登録・利用方法の説明を実施したことから、10月以降も全体として増加傾向が続いた。本年度は案内HPの見直しを行い、新たに電子申請による利用登録受付を開始するなどの利便性向上に努め、全3地区で目標を達成した。

なお、浅羽南地区及び浅羽西地区では、前年度比で利用者数がそれぞれ49%増、96%増と大きく増加したことが、1日あたり利用者数の増加に繋がった。一方、宇刈地区については、利用者数は前年度比6%増、利用日数は3%減であり、変化は小さい。

【今後の対応方針】②~④

各地区における利用者数は一定数あるものの、今後利用が見込まれる高齢者を中心としたより多くの対象者に、登録方法及び利用方法の周知を実施していく。

また、運転経歴証明書発行手数料の一部補助の案内の際に、運行対象地区にお住まいの方には、その場での説明・登録申請受付などを積極的に行っていく。

(3) 袋井交通(株)、袋井タクシー(株) 【目標：1日あたりの運行回数】

No.	路線名	R5年度 (R4.10～R5.9) 実績値	R6年度 (R6.4～R6.9) 目標値	R6年度 (R6.4～R6.9) 実績値	達成状況
⑤	袋井東地区タクシー		7.5回/日	7.3回/日 (905回)	未達成

(※ R5.4～R6.3の実績値は7.5回/日)

R6年4月からの本格運行に伴い、地域にとってより良い路線となるよう、利用希望が多かった医療機関及び、健康増進のためのスポーツ施設を目的地に追加するなどしたが、目標に届かなかった。

目標値を実証運行期間（R5年4月～R6年3月）の実績と同数とする中、運行回数が昨年同期（R5年4月～9月）と比較し2%減となったことが、結果に影響した。

一方で、昨年度と比較して、新規登録数や利用者数に大きな変動が無い状況から、本路線は地域に定着してきていると考えられる。

【今後の対応方針】⑤

R7年4月からの運行に向けて、登録者アンケートの実施及び、地域代表者・事業者との意見交換を行い、より良い路線となるよう努めるとともに、分かりやすい案内（チラシ、HP等）ができるよう努めていく。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年12月25日

協議会名: 袋井市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
秋葉バスサービス(株)	袋井駅・中東遠総合医療センター線	事業者や高校と連携した周知など、利用促進に向けた取組を実施した。	A 計画どおり実施された。	A 目標利用者数:52.0人/日 →実績数:67.7人/日	市内から中東遠総合医療センターへの公共交通として、H25.5月に運行を開始し、R3.4月の運行経路等の改正により高校生の利用も定着してきており、今後も引き続き、事業者や高校と連携した周知に努めるなど、利用促進に向けた取り組みを進める。
遠鉄タクシー(株)	以下の路線・地区において、予約型乗合(デマンド)タクシーを運行 <宇刈地区> <浅羽南地区> <浅羽西地区>	案内HPを見直すとともに、令和6年3月から電子申請による利用登録申請の受付を開始し、利便性向上を図った。	A 計画どおり実施された。	A <宇刈地区> 目標利用者数:2.7人/日 →実績2.8人/日 <浅羽南地区> 目標利用者数:3.1人/日 →実績4.0人/日 <浅羽西地区> 目標利用者数:1.7人/日 →実績2.5人/日	各地区における利用者数は一定数あるものの、今後利用が見込まれる高齢者を中心としたより多くの対象者に、登録方法及び利用方法の周知を実施していく。 また、運転経歴証明書発行手数料の一部補助の案内の際に、運行対象地区にお住まいの方には、その場での説明・登録申請受付などを積極的に行っていく。
袋井交通(株)、 袋井タクシー(株)	袋井東地区タクシー	※新規事業 R6年4月からの本格運行に伴い、地域にとってより良い路線となるよう、利用希望が多かった医療機関及び、健康増進のためのスポーツ施設を目的に追加した。	A 計画どおり実施された。	B 目標運行回数:7.5回/日 →実績7.3回/日	登録者アンケートの実施及び、地域代表者・事業者との意見交換を行い、より良い路線となるよう努めるとともに、分かりやすい案内(チラシ、HP等)ができるよう努めていく。

1
5
1

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年12月25日

協議会名:	袋井市地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統
----------	------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>袋井市地域公共交通計画(令和3年3月策定)の基本方針である「公共交通が移動手段として選ばれるまち」を実現するため、特に高齢者と高校生を対象として、公共交通に対する認識を高めることで、公共交通が必要となった時に気軽に使えるサービスの提供を目指す。</p> <p>上記の基本方針に基づき、以下の目標を定め、「運行」「サービス」「関係者意識」のレベルアップを図る事業に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none">1 市民に日常から認識してもらえる公共交通2 高齢者や高校生に移動手段として選んでもらえる公共交通3 地域で支え合う公共交通
-----------------------------	--